

普代村地域創生研究会 第4回WG

「普代中学校2年生が描く未来の普代村」

〈参加者用資料〉

平成27年10月

普 代 村

普代村地域創生研究会第4回ワーキンググループ開催要項

1 開催日時 平成27年10月2日(金) 午後2時から

2 開催場所 普代村役場 3階 大会議室

3 参加対象 普代中学校2学年 18名(男子9名、女子9名)
普代村地域創生研究会 21名(男性16名、女性5名)

4 開催内容

第4回地域創生研究会において、普代村の次世代を担う子ども達から、「25年後の理想の普代村」をテーマとしたワークショップを開催します。

地域創生研究会では、次の4つの基本目標を柱とした中で、4つのグループに分かれ地域創生に向けた研究を進めています。

(1)地方における安定した雇用を創出する【雇用・労働分野】

(2)地方への新しい人の流れをつくる【移住・定住分野】

(3)若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる【結婚・子育て分野】

(4)時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する【多世代交流・防災地域福祉分野】

※1 当日のワークショップでは、「25年後の理想の普代村」をテーマに掲げ、中学生のみなさんには、25年後、自分達が40歳程度になっている時代に、普代村が「こんな村になっていたらいいな」と思う理想の普代村を想像してもらいます。

中学生には、4つのグループに分かれていただきますが、分野の特定はしませんので、多くの意見を出してもらいワークショップを楽しんでいただきます。

5 持参する物

・名札、筆記用具、ノート

※2 ワークショップに係る消耗品等は、地域創生研究会でご用意しますので、上記のみご持参くださいますようお願いいたします。

6 事前依頼事項

・中学生18名を4名～5名編成で4班編成としていただきたいこと。

(既存名簿で結構ですので、班分けしたものを担当者あて事前提出願います。)

・時間があれば当日のテーマとなる「25年後の理想の普代村」、「現時点でこういったものが普代村に必要」など事前学習いただければ幸いです。

7 その他

当日の会場までの移動手段は、恐れ入りますが、中学校側でお手配いただきますようお願いいたします。

[タイムテーブル]

- | | | |
|---|------------------------------|-------------|
| 1 | 開 会 | 14:00~ |
| 2 | オリエンテーション | 14:05~14:10 |
| | ○地方創生について | |
| | ○普代村の将来人口の推計について | |
| | ○普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略について | |
| 3 | 自己紹介 | 14:10~14:15 |
| | ○普代村地域創生研究会（氏名・所属・業務内容） | |
| | ○普代中学校2年生（氏名・部活動・普代村の好きなどころ） | |
| 4 | ワークショップ | 14:15~15:10 |
| | ○普代村のいいところ、伸ばしたいところ | |
| | ○普代村の気になるところ、変えたいところ | |
| | ○今後取り組むべきこと、やるべきこと | |
| | ○将来像「25年後の理想とする普代村」 | |
| 5 | 意見発表 | 15:10~15:30 |
| | ○各グループによる発表 | |
| | ○感想 | |
| 6 | 閉 会 | 15:30~ |

[オリエンテーション]

○地方創生について

「地方創生とは…」

各地域・地方が、それぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会をつくること、魅力あふれる地方のあり方を築いていくことを「地方創生」といいます。

○普代村の将来人口の推計について

「25年後の普代村の人口は…」

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、平成 22(2010)年の普代村総人口 3088 人が、これから 25 年後の平成 52(2040)年には、1966 人(▲36.3%)まで減少し、平成 72(2060)年には、1050 人(▲66.0%)まで減少するという推計を公表しました。

○普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略について

「総合戦略とは…」

全国の地方公共団体(都道府県や市区町村約 1800 の団体)が、魅力あふれる地方のあり方を考え、人口減少の抑制や新しい地方の創造に対して、5 力年の計画を策定いたします。その計画のことを「総合戦略」といいます。

[参加者名簿]

1 普代中学校

グループ	氏名	部活動	普代村の好きなところ
	熊谷 鈴 茄		
	上 方 こもも		
	赤 坂 玲 美		
	中 村 泉		
	上神田 千 尋		
	深 渡 翔		
	及 川 仁		
	森 田 樹		
	砂 子 真 生		
	三 船 萌		
	前 川 友 哉		
	赤 坂 旺一郎		
	藤 嶋 成		
	村 尾 恭 吾		
	山 本 一 斗		
	煤 賀 美 由		
	石 川 大 地		
	桎 谷 美 麗		

2 普代村地域創生研究会

グループ	氏名	所属	役職	備考
1	佐々木 弘 樹	建設水産課	係 長	(欠席)
	野 場 奨	教育委員会事務局	主 事	(欠席)
	前 川 正 樹	総務課	主 事	◎リーダー
	落 合 涼 香	農林商工課	主事補	
	中 村 翔	地域創生室	主 事	事務局兼務
2	森 田 陽	商工観光対策室	主 事	◎リーダー
	新 屋 一 郎	教育委員会事務局	主 事	
	中 村 晃 江	総務課	主 事	
	坂 本 由加里	税務出納課	主 事	
	谷 増 剛	地域おこし協力隊	隊 員	
3	紀 室 栄美子	税務出納課	主 事	◎リーダー
	深 渡 真 人	住民福祉課	主 事	
	太 田 俊 英	建設水産課	主 事	(欠席)
	三 船 和 輝	議会事務局	主事補	
	坂 下 雄 洋	地域創生室	主 事	事務局兼務
4	勝 田 智 子	保健センター	主任栄養士	◎リーダー
	坂 上 栄 吉	総務課	主 事	(欠席)
	下 道 峻 聖	総務課	主事補	
	長 根 寛 人	住民福祉課	主 事	
	日ノ沢 佑 紀	農林商工課	主 事	
	鬼 束 拓 哉	地域おこし協力隊	隊 員	

3 事務局

所属	役職	氏名	備考
総務課地域創生室	室 長	道 下 勝 弘	
//	係 長	中 村 克 成	
//	主 事	坂 下 雄 洋	
//	主 事	中 村 翔	

[ワークショップの進め方]

- 「普代村のいいところ」と「伸ばすべきところ」を1人ずつポストイットカードに記入し、(1人それぞれ5枚程度)、模造紙の一番左側の枠に全員が貼りつけます。
- 「普代村の気になるところ」と「変えるべきところ」を1人ずつポストイットカードに記入し、(1人それぞれ5枚程度)、模造紙の中央の枠に全員が貼りつけます。
- 「普代村のいいところ、伸ばすべきところ」、「普代村の気になるところ、変えたいところ」の全体を見渡ししながら、同じあるいは類似のものを揃えて(グルーピングして)いきます。
そして、そのグループごとに線で囲み、グループの見出しをつけます。そして左2つの枠の内容を踏まえて、今後村で取り組むべきと思うこと、やるべきことをポストイットカードに記入し、「今後取り組むべきこと、やるべきこと」の枠に全員が貼りつけます。
- 左2つの枠を見ながら、「今後取り組むべきこと、やるべきこと」の枠に貼ったポストイットカードを左2つの枠と対応させながら一番右側で整理します。
そして最後に、整理した内容を踏まえ、どんな村になるか、したいかを「将来像(25年後の理想とする普代村)」の枠に記入します。

ブ레인・ストーミングの注意点

- 「自由奔放」⇒奔放な発想を歓迎し、とっぴな意見でもかまわない
- 「批判厳禁」⇒どんな意見が出てきても批判しない
- 「質より量」⇒数で勝負、量の中から良いものが生まれる
- 「便乗発展」⇒出たアイデアを結合し、改善して、発展させる

ディスカッションの注意点

- 人の話をよく聞き、否定しない
- 演説はしない、意見発表は簡潔に
- 議論は前向き、建設的に

普代村地域創生研究会 第4回ワーキンググループ資料

ワークシート「普代中学校2年生の描く未来の普代村」

普代村のいいところ、伸ばしたいところ	普代村の気になるところ、変えたいところ	今後、取り組むべきこと、やるべきこと
		将来像（25年後の理想とする普代村）